

ファシリテータの心がまえ 七箇条！

一、準備はぬからず 入念に

アイスブレイクの成否を分かつものは、準備といっても過言ではありません。場の目的に応じた適切な流れをつくっておきましょう。また必要物品は前日までに揃えておきましょう。

マーカーのインク、紙の補充もお忘れなく。

一、自信がなければ 練習を

テンポよく展開すると、「できるファシリテータ」という印象が付き、参加者からの信頼が得られやすくなります。手順を守れるよう、シミュレーションをしておきましょう。

一、ファシリテータから 楽しもう

場の雰囲気左右するのは、なんといってもファシリテータの振る舞いです。恥ずかしがらず率先して動きましょう。

一、みんなにわかる 説明を

せっかくの楽しいアイスブレイクも、参加者が理解できなければ意味をなしません。デモンストレーションや図示などによる視覚的効果のある方法も含め、わかりやすい説明を心がけましょう。

一、時間管理は 厳重に

本番のプログラムを圧迫することのないよう、つねに時間経過には気を配りましょう。

タイマーなどを活用するほか、タイムキーパーを決めておくことも一案です。

一、小さなことは 根に持たない

予想外の展開や、発言が「すべってしまふ」ことも時にはあります。あとで振り返ることは必要ですが、その場では流れを止めてしまわないよう、気持ちを切り替えて進みましょう。

一、後工程を 考えて

アイスブレイクは、あくまでプログラムを円滑に進められるための「導入部分」です。

熱中するあまりアイスブレイクだけで参加者が疲れてしまうことのないよう、余力を残して終わらしましょう。